



IHE-J眼科部門
HL7/DICOMなどの連携
手段での標準化

眼科技術委員会

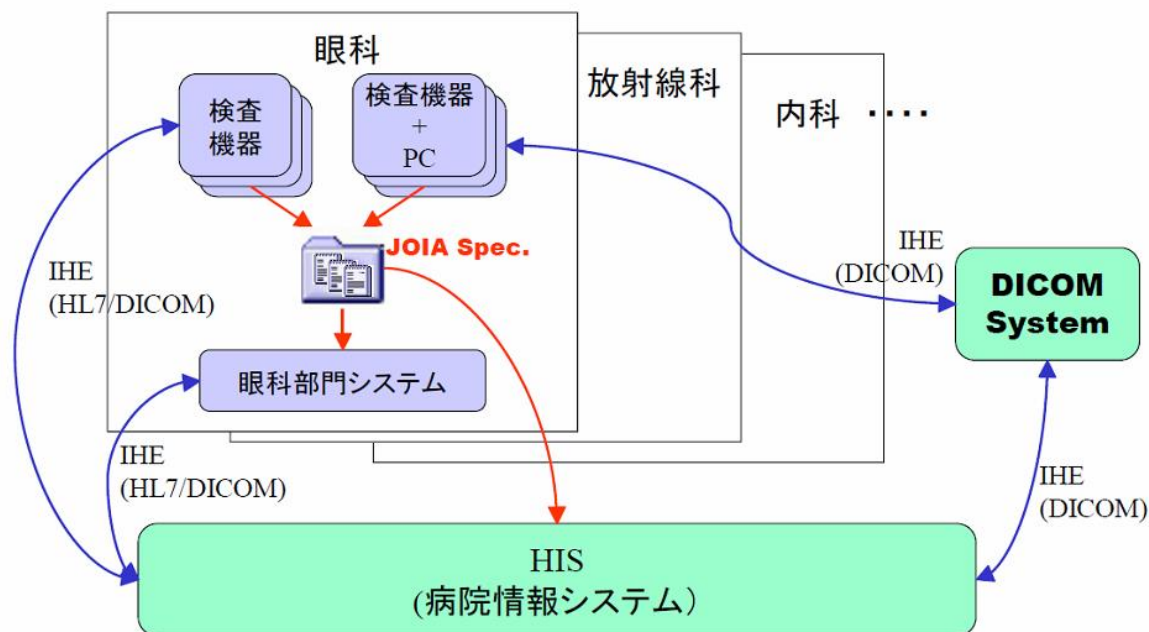


目次

- 眼科におけるIHE-Jの取り組み
- 画像連携手段としてのDICOM規格
- HISとの連携標準規格であるHL7
- 眼科診療ワークフロー

眼科におけるIHE-Jの取り組み

- システム相互接続性を確保した医療連携のための情報統合化プロジェクト
- 医療情報の円滑な連携を可能とするため、規格(HL7, DICOM)の使い方を提案しているガイドライン(テクニカルフレームワーク)制定





画像連携手段としてのDICOM規格(1/2)

■ DICOMとは・・・

- ACR-NEMA(アメリカ電子機器工業会と北米放射線学会共催の委員会)によって定められた。
- 画像データの送受信、保存のためのメッセージ規定
- 標準化しているのは
 - 通信のフォーマット(属性、構造)と、プロトコル(手順)
 - データの種類、フォーマット

■ DICOM WG-09(DICOM眼科部門)

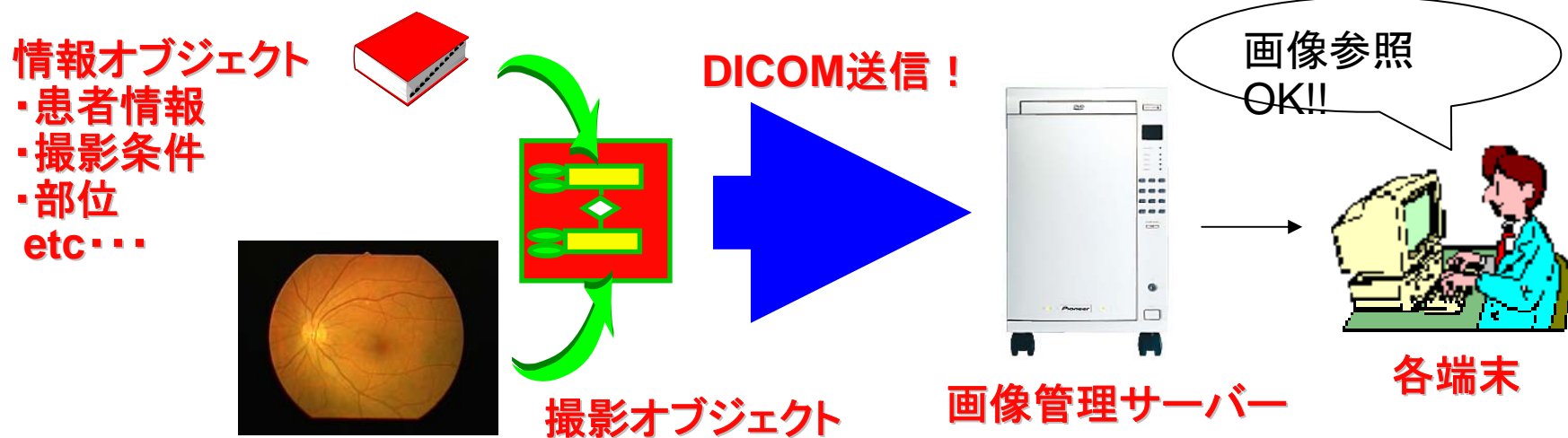
眼科用DICOMの標準化→眼科特有情報管理

- Sup91 :眼科画像のModality(2004発行)
- Sup110:眼科OCT画像のModality(2007発行)
- Sup130:眼科検査データのModality (2008発行)

画像連携手段としてのDICOM規格(2/2)

■ ユーザーから見たメリット

- 異なるメーカーの機器の組み合わせでシステムを構築可能
- リプレース時、メーカー変わっても、以前のデータを利用可能



HISとの連携標準規格であるHL7 (1/2)

■ HL7とは・・・

特定の部門やシステムに特化したものでなく、施設間・システム間での臨床情報、管理情報(保険医療情報等)を扱う、ヘルスケア領域でのデータ交換標準

(規約抜粋)

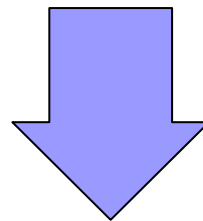
- 定められた業務で発生した事象を契機にメッセージを生成
 - 例えば「医師が生化学検査を依頼する」ORM^O01
- メッセージ: 3文字のメッセージタイプと3文字の事象タイプ
 - ORM^O01「MSHセグメント<CR>
 - PIDセグメント<CR>
- セグメントの区切り
 - PID|||患者ID||患者氏名||生年月日|・・・

詳しくは、日本HL7協会
<http://www.hl7.jp/>

HISとの連携標準規格であるHL7 (2/2)


HL7での表記例

患者ID		PID001
患者氏名	ローマ字	Yamada^Tarou
	漢字	山田^太郎
	カタカナ	ヤマダ^タロウ
生年月日		19501127
性別	男	M



HL7では

PID||OPC-001|PID001||Yamada^Tarou^^^^L^A~山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^P||19501127|M

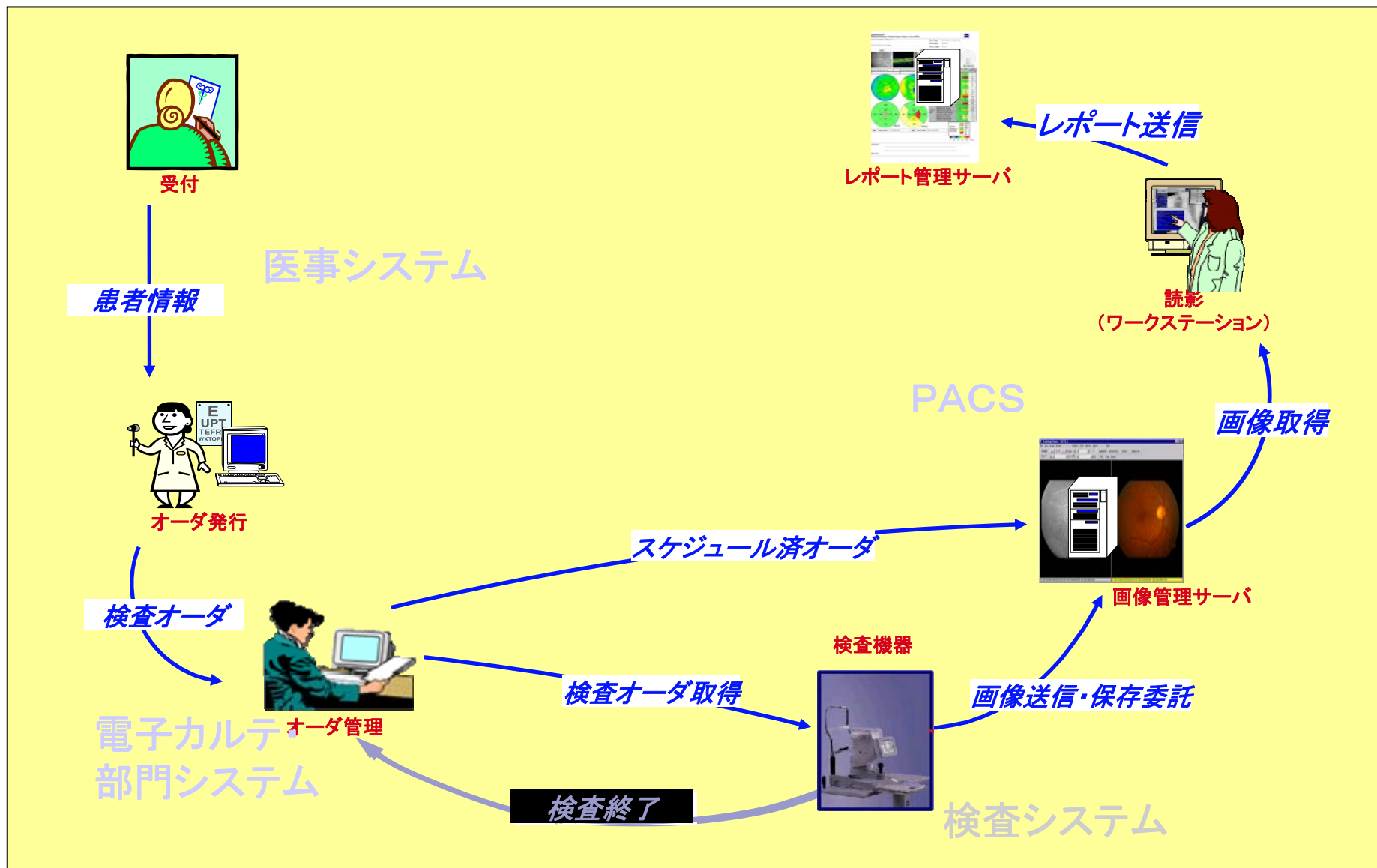


眼科診療ワークフロー

■ IHE-NAで検討

- Eye Care Workflow (EYECARE): 診療ワークフロー
- Charge Posting (CHG): 会計フロー
- Eye Care Evidence Documents (ECED): 検査のエビデンス
- Eye Care Displayable Report (ECDR): 診療レポートの表示

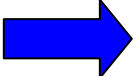
Eye Care Workflow (IHE-NA)



コネクタソン

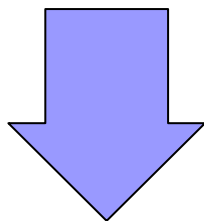


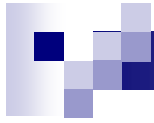
おわりに

- 診療ワークフロー制定
- HL7、DICOM 標準規格 ベース
- システム間 データの伝送方法・内容 定義
  テクニカルフレームワーク
- テクニカルフレームワークに従ってシステム実装・テスト

メリット

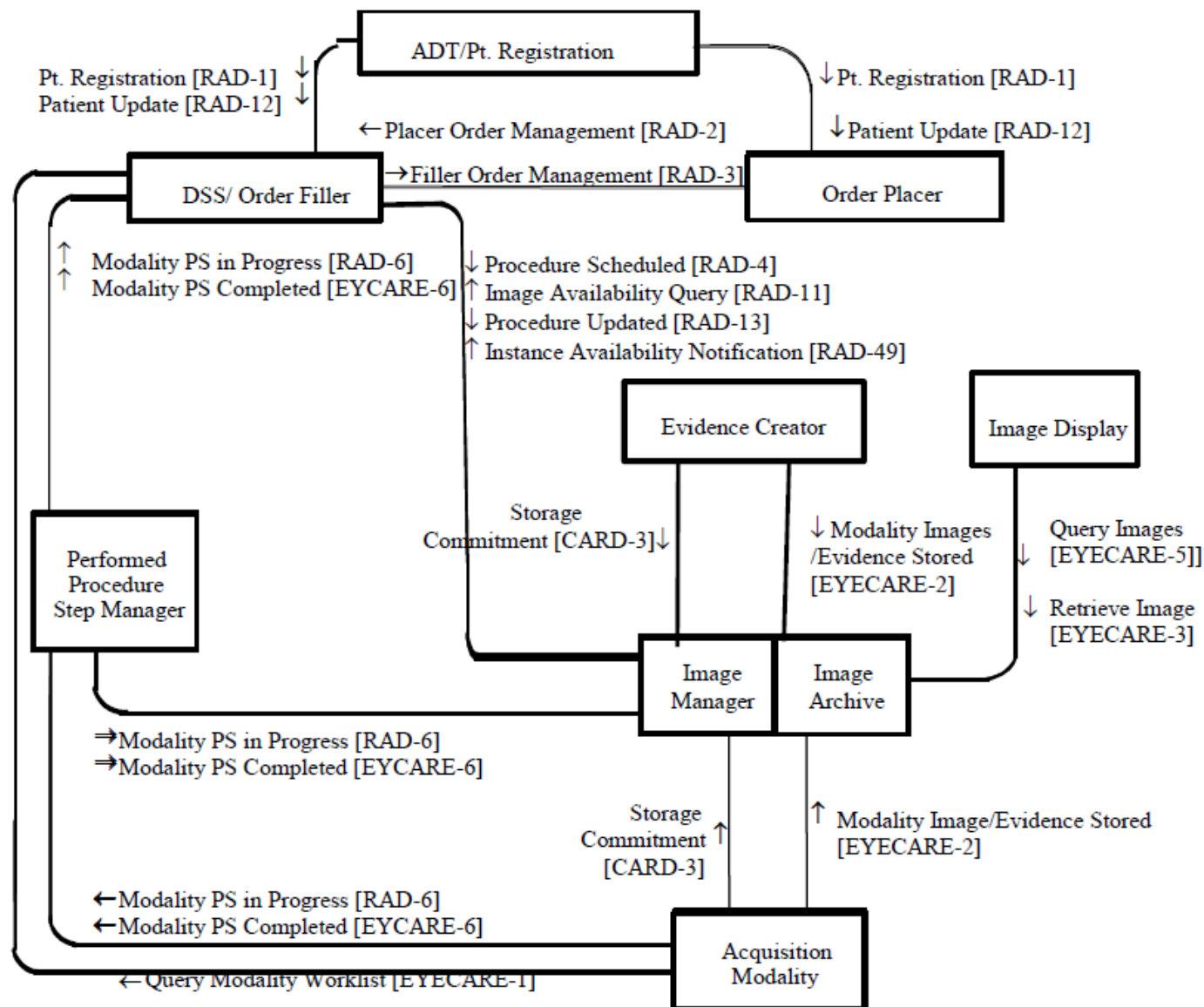
- 導入コスト大幅削減
- メーカー選定が容易
- システム構成・ベンダー変更が容易
- 医療の質向上





御清聴ありがとうございました

Eye Care Workflow (IHE-NA)



通常診療のユースケース

